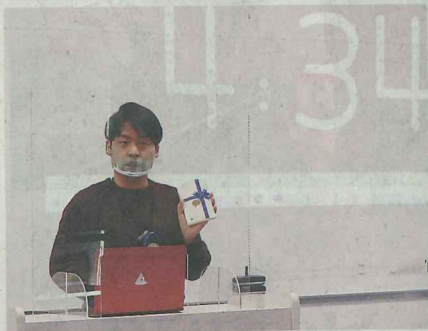


お気に入り本魅力語る ビブリオバトル



制限時間内のプレゼンテーションに白熱したビブリオバトル



広島工業大



4年

手島慶祐

広島工業大（広島市佐伯区）で、書評のプレゼンテーションを競う「ビブリオバトル」があった。2、3年生の4人が出場し「お気に入り」の1冊の魅力を熱く語った。

出場者は、それぞれ5分の制限時間で、自身がその本を手にとったきっかけや、構成の面白さ、どのよう

に役立ったかななどについて紹介した。当初は観戦者に「読みたくなかった本」を投票してもらおう予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、録画した動画を見てオンライン投票してもらう方式にした。

優勝は、小説「ストーリー・セラ」(有川浩著)を紹介した情報工学科3年吉田翼さん(21)。吉田さんは「相手に自分の思いを伝えることの難しさに悩んだが、それがうまく伝わりうれしかった」と達成感をにじませていた。

ビブリオバトルは例年、全国大会につながる地区予選に向けた学内選考を兼ねていたが、本年度はコロナの影響で学外の大会が中止となり、大学が独自開催した。